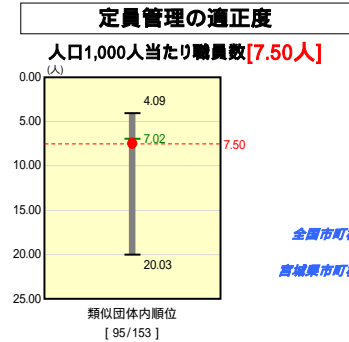
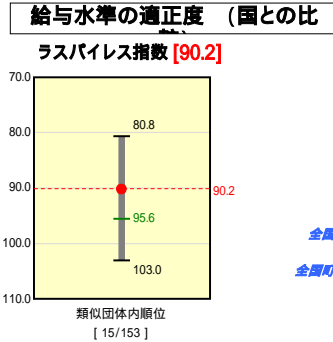
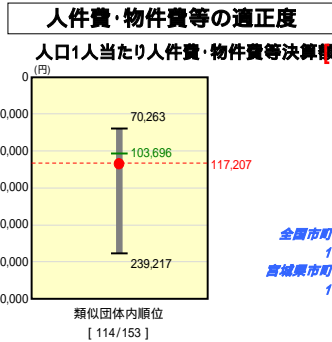
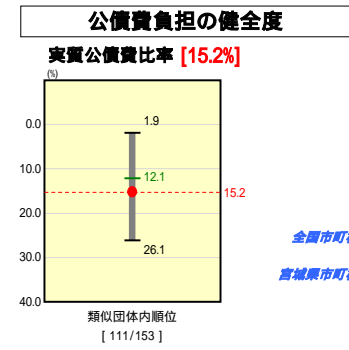
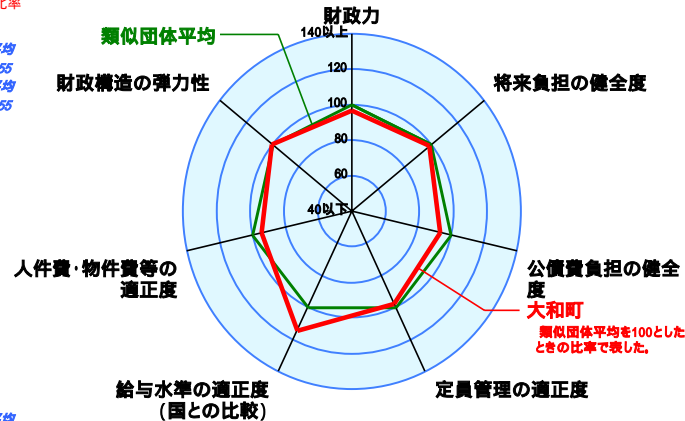
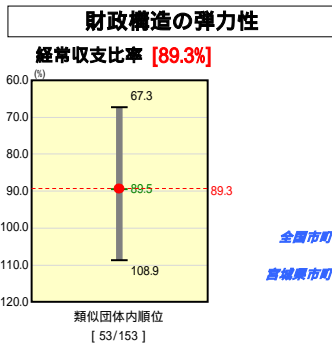
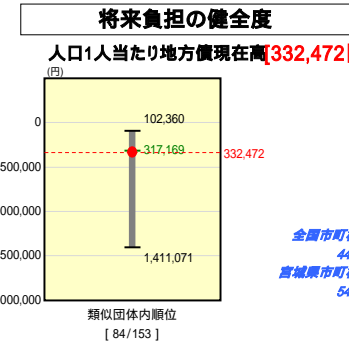
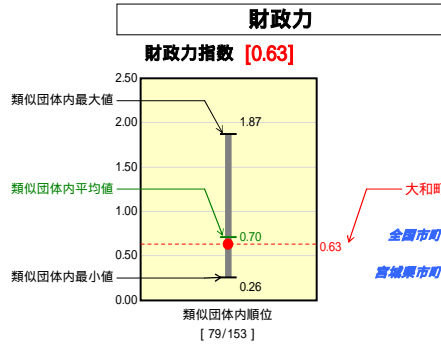


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

宮城県 大和町

人口	24,282	人(H20.3.31現在)
面積	225.59	km ²
歳入総額	9,113,449	千円
歳出総額	8,815,123	千円
	298,326	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づいたものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数は、0.63で類似団体153のうち79位である。類似団体平均より0.07ポイント下回っているが、平成15年度前から年々連続して伸び0.63となっている。前年同様、町税等収納特別対策本部による徴収率向上対策の成果も要因として挙げられ、今後も税等の徴収業務の取組みを強化する。
また、さらなる定員管理、給与の適正化(平成22年度には6.4%減額)等による歳出削減を実施し財政基盤の強化に努める。
- 経常収支比率は、ここ数年比率が悪化し89.3%で、類似団体内53位である。19年度は類似団体平均より0.2ポイント低い数値であるが、現在行っている高金利の繰上償還により、今後比率は減少し、19年度に策定した財政健全化計画では、平成23年度には85.7%を見込んでいる。今後も新規職員採用抑制、手当て等の見直しなど行政改革への取組みを通じて義務的経費の削減に努める。
- ラスバイレス指数は、90.2で前年と同ポイント。類似団体内(15/153)で同順位にあるが、引き続き経費の縮減に努める。

- 実質公債費比率については、類似団体平均より3.1ポイント高い15.2%となっている。平成20年度にピークの17.5%を見込んでいるが、繰上償還により23年度には16.2%に下がるものと見ている。今後とも新規発行の抑制に努め、発行する際には普通交付税の対象となるものとし、世代間の負担の公平化を念頭に健全な財政運営に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高は、類似団体平均より15,303円高い332,472円(前年比21,603円の減)となっている。実質公債費比率と同じく平成20年度をピークに減額していく見込みである。
- 定員管理の適正度(人口1,000人当たりの職員数)は、類似団体平均7.02人より0.48人多い7.50人となっている。平成22年度には176人とし17年度より15人減(8%減)とする計画としており、今後もより適正な定員管理に努める。
- 一人当たり人件費・物件費等の、類似団体平均との比較では13,511円約11%高くなっているが、主に人件費が要因となっている。事務事業の指定管理者への民間委託等を導入しているが更に検討を進め経費抑制を図る。